

財政構造の弾力性 経常収支比率 推移 (日野町・同じ類似団体である愛荘町)

自由に使えるお金がどれくらいあるかという財政構造の弾力性を示すもの

(単位 %)

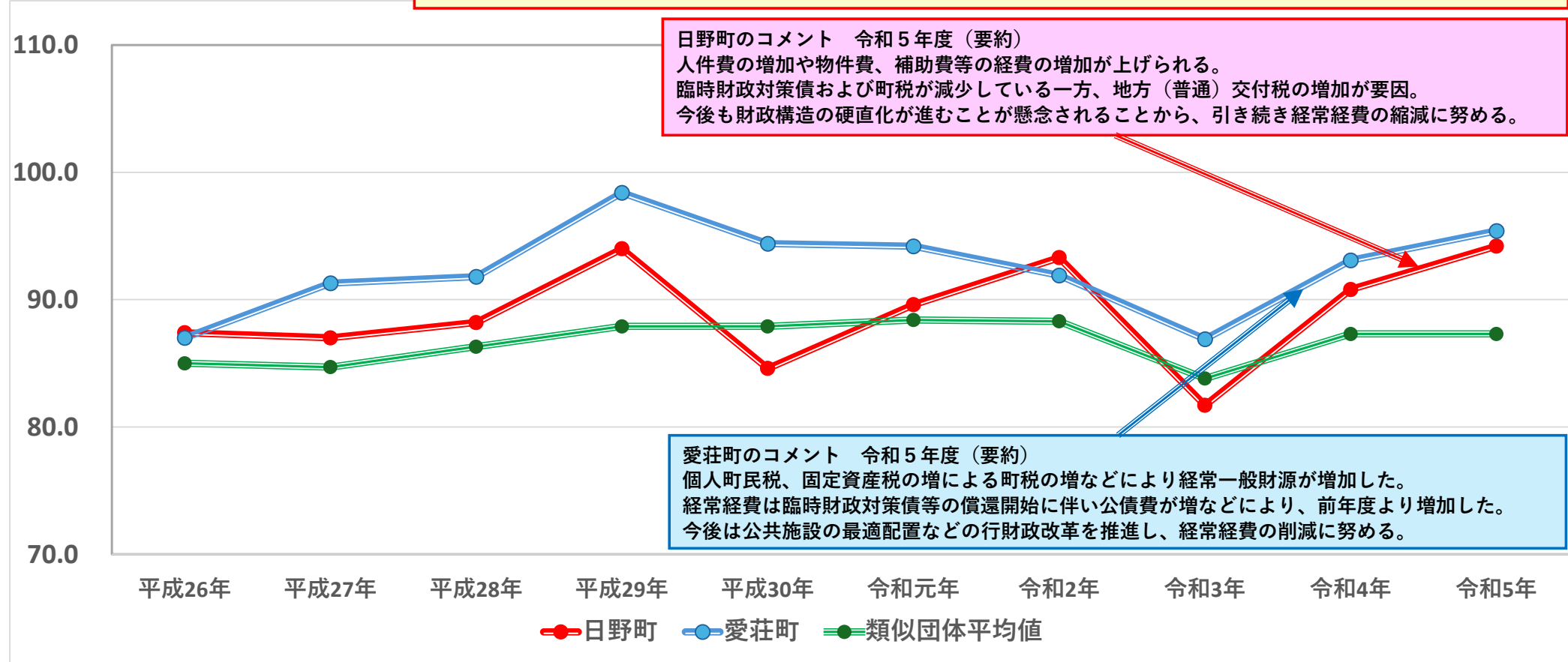
全国平均 93.1
滋賀県平均 91.8

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	類似団体順位
日野町	87.4	87.0	88.2	94.0	84.6	89.6	93.3	81.7	90.8	94.2	31/37
愛荘町	87.0	91.3	91.8	98.4	94.4	94.2	91.9	86.9	93.1	95.4	34/37
類似団体平均値	85.0	84.7	86.3	87.9	87.9	88.4	88.3	83.8	87.3	87.3	

山本秀喜の考察

日野町の経常収支比率が高く推移してきたとみていたが、愛荘町も随分高めであった。両町とも類似団体順位としては良くない。他の市町も調査してみると、100%超えもあった。愛荘町は経常収支比率に占める公債費の割合が高かった。臨時財政対策債などの償還増が要因だった。日野町は人件費で高く、愛荘町は公債費で高い。このバランスに注目しなければならない。日野町は今後大型公共投資による地方債が増えてくれば、更に高く推移してくるのか。注視していく。

総務省の財政状況資料集から作成



人件費 推移 (住民一人当たりのコスト) (日野町・愛荘町)

議員報酬・各種委員報酬、町職員の給与などの費用

(単位 円)

全国平均 80,168

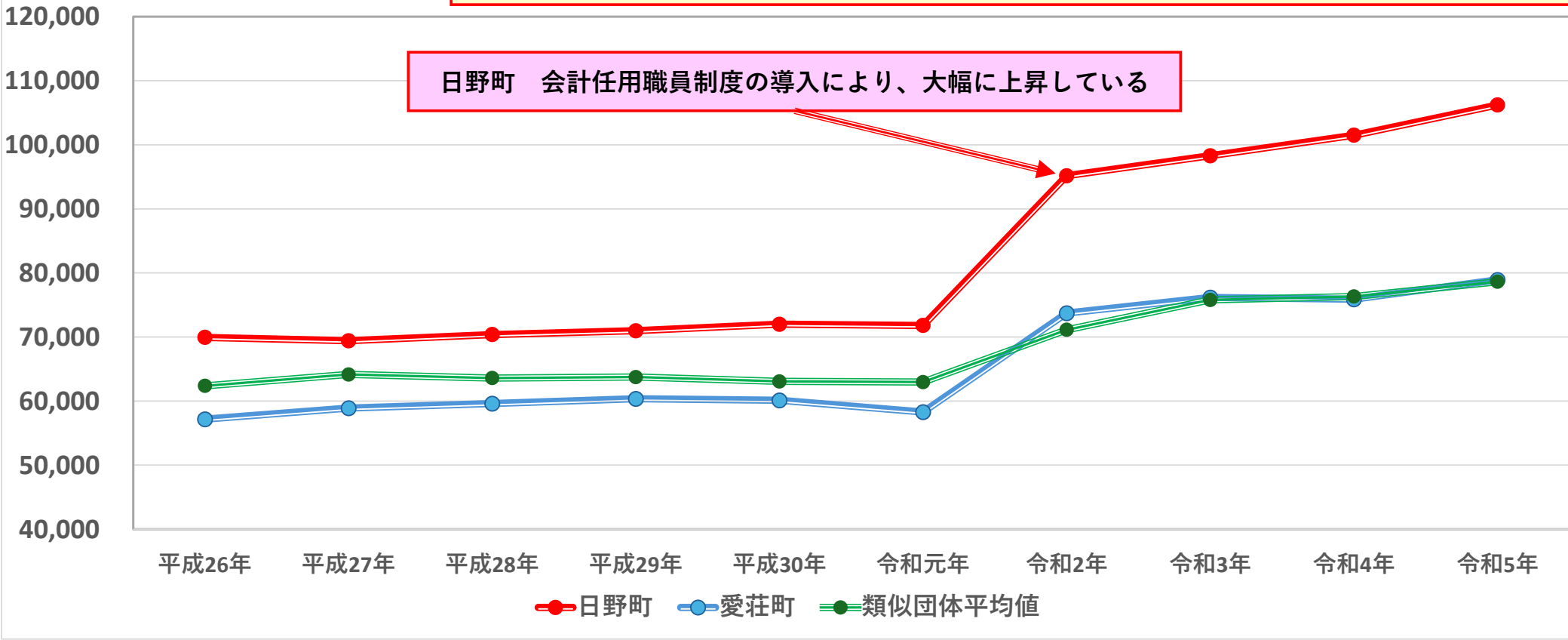
滋賀県平均 76,584

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	類似団体順位
日野町	69,934	69,424	70,391	70,975	71,990	71,811	95,173	98,291	101,491	106,217	3/37
愛荘町	57,182	58,917	59,628	60,376	60,133	58,290	73,726	76,170	75,894	78,930	19/37
類似団体平均値	62,372	64,158	63,599	63,745	63,072	62,963	71,124	75,794	76,322	78,624	

山本秀喜の考察

日野町の人件費は、令和2年度に会計任用職員制度の導入により、元々非常勤職員の賃金は物件費に含まれていたことから人件費に移行し、以降、大幅に上回る結果となっている。日野町は地域性もあり、会計任用職員によって事業が成り立っていることを理解しておく必要がある。全国平均、滋賀県平均、愛荘町よりも大きく上回っていることが分かる。また、公務員の公平性から日野町にも令和7年度から地域手当も導入され、議員報酬も改定されていることから、更に上振れすることを認識しておくことが必要。

総務省の財政状況資料集から作成



定員管理の状況 推移（人口1,000人当たりの職員数）（日野町・愛荘町）

（単位 円）

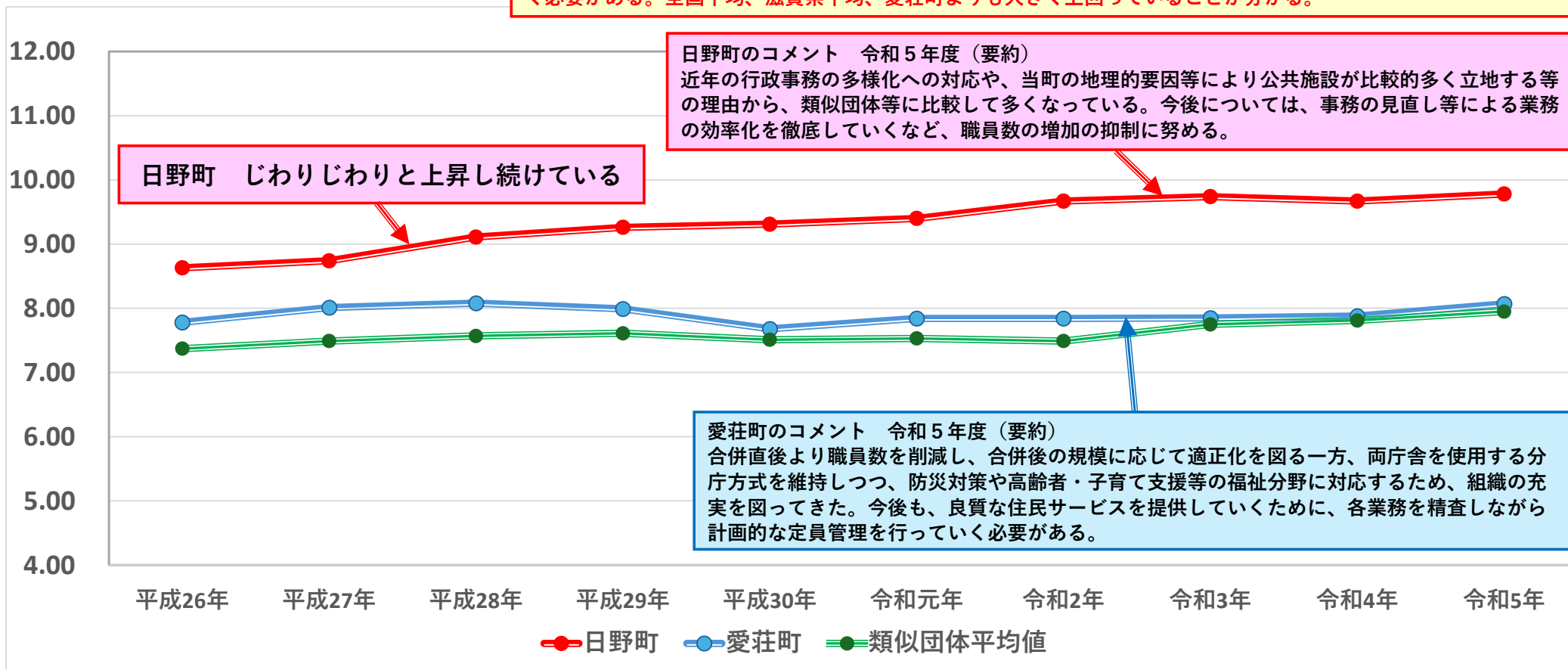
全国平均 8.32
滋賀県平均 7.43

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	類似団体順位
日野町	8.63	8.74	9.11	9.26	9.31	9.40	9.67	9.74	9.67	9.78	32/37
愛荘町	7.78	8.01	8.08	7.99	7.68	7.84	7.84	7.85	7.88	8.07	22/37
類似団体平均値	7.37	7.49	7.57	7.61	7.51	7.53	7.49	7.75	7.81	7.95	

山本秀喜の考察

日野町の人口1,000人当たりの職員数は、町の総人口が減少していることが起因していることもあり、じわりじわりと上昇し続けています。また、行政事務の多様化に伴う職員増も考えられます。ただ、数字を見て分かるように類似団体の平均からは2人ほど多く、地域性により職員が多い実情を理解しておく必要がある。全国平均、滋賀県平均、愛荘町よりも大きく上回っていることが分かる。

総務省の財政状況資料集から作成



公債費 推移 (住民一人当たりのコスト) (日野町・愛荘町)

全国平均 44,159
滋賀県平均 38,913

町の借入金の返済費用

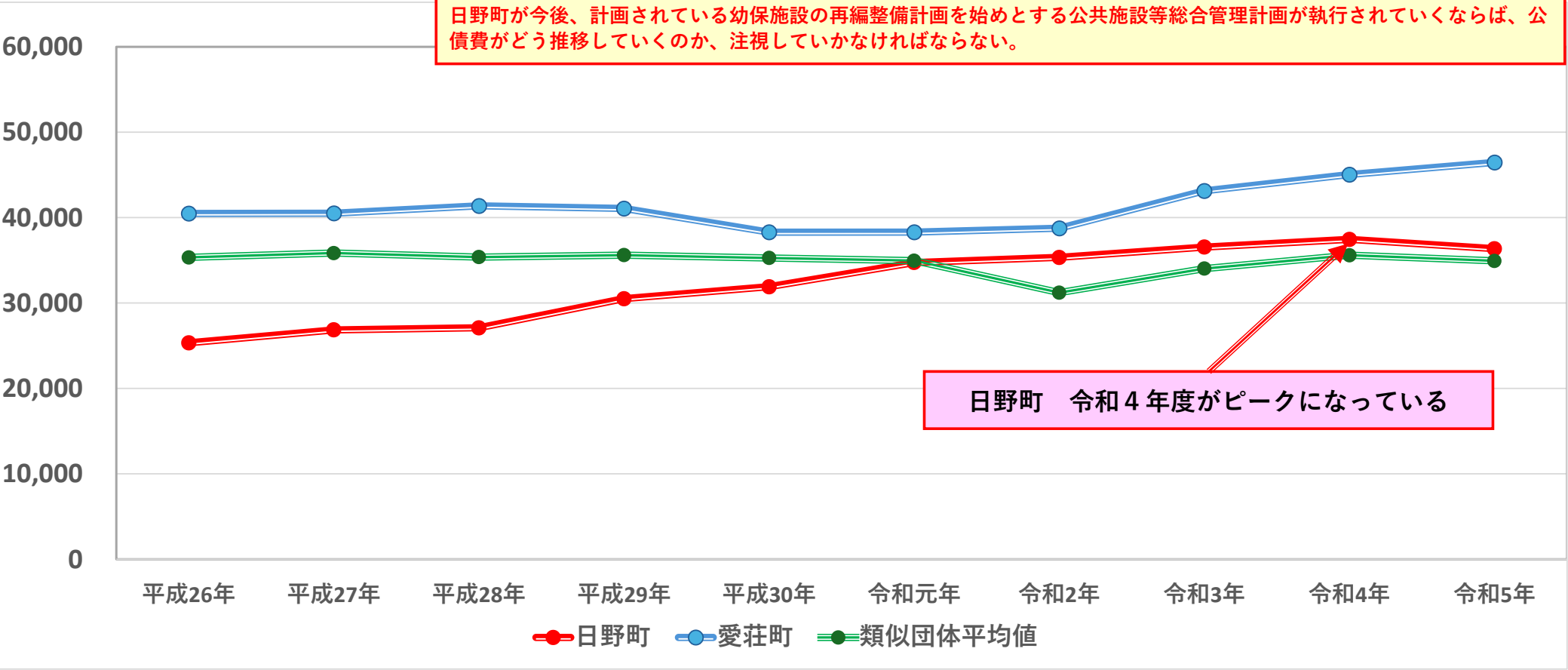
(単位 円)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	類似団体順位
日野町	25,346	26,855	27,102	30,510	31,909	34,748	35,352	36,559	37,458	36,361	16/37
愛荘町	40,505	40,529	41,388	41,072	38,299	38,306	38,766	43,138	45,060	46,468	13/37
類似団体平均値	35,351	35,858	35,383	35,608	35,279	34,966	31,220	34,041	35,606	34,941	

山本秀喜の考察

日野町の公債費は、全国平均、滋賀県平均よりも少ないが、類似団体平均値に比べて若干上回る程度である。これは、計画的に各公共施設の長寿命化対策により施設改善を実施している結果とみる。ただ、投資には慎重なのが伺える。愛荘町は比較的高い。臨時財政対策債、地方道路等整備事業債、公共事業等債、学校施設等整備事業の償還が増えていると記載されている。ここが日野町と異なる点である。日野町が今後、計画されている幼保施設の再編整備計画を始めとする公共施設等総合管理計画が執行されていくなれば、公債費がどう推移していくのか、注視していかなければならない。

総務省の財政状況資料集から作成



将来負担の状況 将来負担比率 推移 (日野町・愛荘町)

将来に負担が見込まれる負債の大きさを示すもの

(単位 %)

全国平均

6.3

滋賀県平均

0.0

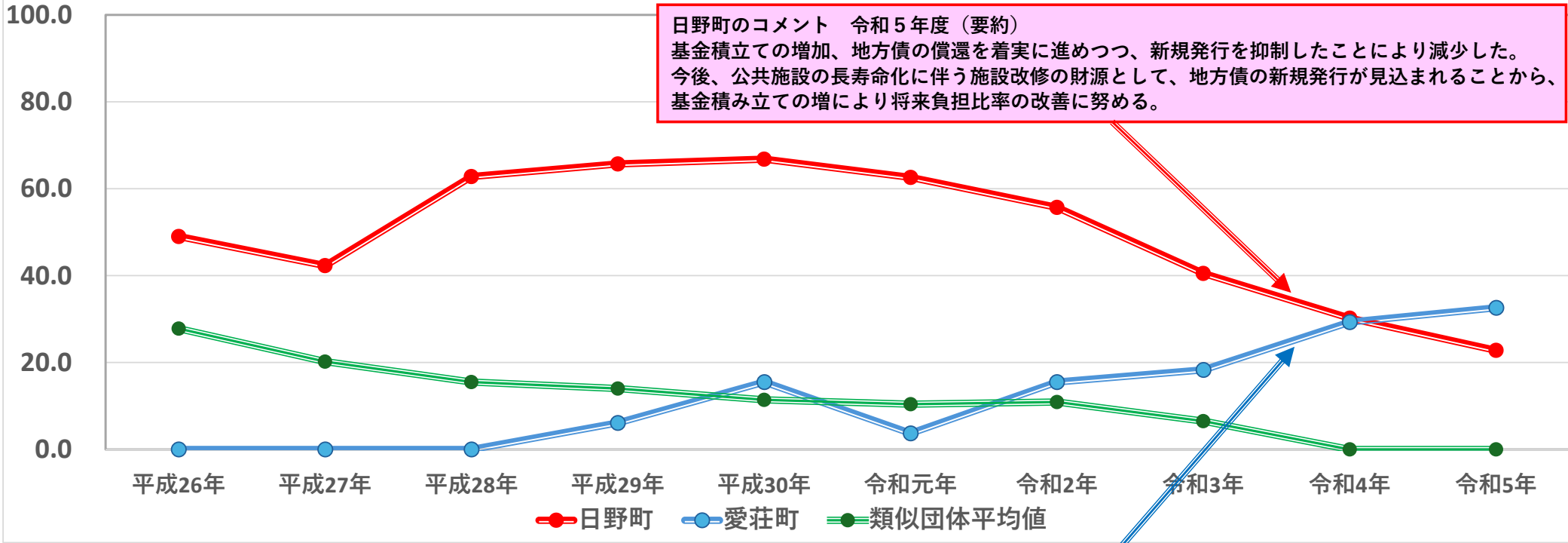
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	類似団体順位
日野町	49.0	42.3	62.8	65.7	66.8	62.6	55.7	40.5	30.2	22.8	25/37
愛荘町	-	-	-	6.1	15.5	3.7	15.5	18.3	29.3	32.6	30/37
類似団体平均値	27.8	20.2	15.5	14.0	11.4	10.4	10.9	6.5	0.0	0.0	

山本秀喜の考察

日野町の将来負担比率は近年投資案件が少ないこと（日野町に限らず全国的に少ない）から、返済を確実に進めていることから減少している。愛荘町は平成28年から近年にかけて公共施設の更新整備などに着手されており、その結果、基金を取り崩すなどが要因して、将来負担比率が増加していることが分かる。

日野町は、今後大型公共投資案件に着手していくことによって、いつ上振れに転じるのか注視していく必要がある。

総務省の財政状況資料集から作成



日野町のコメント 令和5年度（要約）

基金積立ての増加、地方債の償還を着実に進めつつ、新規発行を抑制したことにより減少した。今後、公共施設の長寿命化に伴う施設改修の財源として、地方債の新規発行が見込まれることから、基金積み立ての増により将来負担比率の改善に努める。

愛荘町のコメント 令和5年度（要約）

財源不足により財政調整基金や特定目的金を取崩したことで、充当可能基金が減少したことにより将来負担額が増加している。

公債費負担の状況 実質公債費比率 推移 (日野町・愛荘町)

年間の借金返済の大きさを示すもの 比率が高いほど、借金返済の資金繰りが厳しいことを表す

(単位 %)

全国平均
滋賀県平均

5.6
4.1

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	類似団体順位
日野町	6.7	4.8	4.4	4.6	5.3	6.3	6.5	6.5	6.3	6.5	17/37
愛荘町	6.4	4.6	4.4	5.0	6.0	5.3	4.4	3.8	4.5	5.4	14/37
類似団体平均値	8.1	7.1	6.6	6.5	6.7	6.6	5.9	5.9	6.1	6.5	

山本秀喜の考察

日野町の実質公債費比率は横ばいで問題ないとみる。借入に関して、多くもなく、少なくもなくコントロールされていることが伺える。ただ、近年大型投資案件が少ないことを加味しての横ばいの数字は、今後大型投資に着手していくことによりどう推移していくのか、注視していく必要がある。

総務省の財政状況資料集から作成

